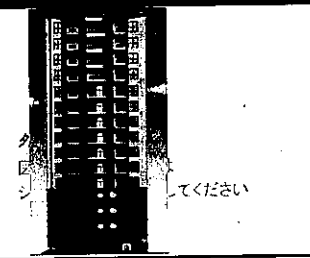


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長岡京市天神1丁目 新築工	階数	地上15F
建設地	京都府長岡京市天神1丁目419-2	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第2種住居住居地域	平均居住人員	146人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年3月22日
敷地面積	864 m <sup>2</sup>	作成者	森田 俊和
建築面積	243 m <sup>2</sup>	確認日	2022年3月22日
延床面積	3,050 m <sup>2</sup>	確認者	森田 俊和



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 京都府長岡京市に建つ15階建ての共同住宅である。室内環境は、遮音性能を向上させ十分な採光を確保することで、快適な居住空間となるよう配慮した。建物は、外皮性能の向上やODP、GWPが低い材料の使用など省エネ、地球温暖化に配慮した計画とした。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 建具にはT-2以上を採用し、室内の音環境に配慮した。また、断熱等級4以上やF★★★★の採用、適切な採光の確保など居住者の快適性に配慮した計画とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 劣化対策等級3とし、耐用年数の長い材料を用いるなど建物の耐用性に配慮した計画とした。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 景観の協議を行い、色彩や形態など景観に配慮した建物とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱等級4相当とし建物外皮の熱負荷抑制を図るとともに、設備の高効率化を図ることでBEI: 0.99とするなど省エネ性に配慮した計画とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ODP、GWPが低い材料を用い汚染物質の使用回避を行った。	<b>LR3 敷地外環境</b> 高効率設備の採用や建物の長寿命化を図ることで、ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を参照値に対して85%とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される